

# 岩木川ダム 統管だより

027号  
2019年  
7月31日



◆絶好のコンディションの中、全国各地から集結し熱戦を繰り広げる選手たち！！

## カヌー競技場の様子



●大勢の観客は、一流のテクニックに魅了されていました！

令和元年6月22日（土）から23日（日）にかけて、日本カヌー連盟主催「2019カヌーワイルドウォータージャパンカップ」第4戦、「2019カヌースラロームジャパンカップキョクヨーシリーズ第4戦」と西目屋村主催「第18回白神カップカヌー大会」が、津軽ダム下流「目屋溪谷岩木川カヌー競技場」で開催されました。

この大会には日本全国各地から一流の選手達が集まり、2日間にわたり白熱したレースが展開されました。両日共に変わりやすい天候の中での開催ではありましたが、選手達は“津軽ダム”からの安定した豊富な水量と、新緑



津軽ダムイメージ  
キャラクター  
ベッカー君

# 津軽白神湖

Tsugaru-Shirakami-Lake

(次ページへ続く)



(前ページからの続き)



◆雨の中、元気に稚魚の放流をする子供達。『大きく育てね!』

てもらおう」ことを目的として毎年開催しています。放流をした子供達は、強い雨が時おり降るあいにくの空模様の中ではありましたが「大きく育てね」と元気に声を掛けながら放流している様子がとても印象的でした。

岩木川の清流を優雅に泳ぐ大きなイワナの姿が今から待ち遠しいです。

の“目屋溪谷”の絶景を体感しつつ、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮していました。観戦に訪れたカヌーファンたちは、選手たちに熱い視線と割れんばかりの大きな声援を送っていました。

また、2日目の競技終了後には、岩木川漁協の主催で、イワナの稚魚約5,000匹が、カヌー大会参加者やガールスカウトの子供達によって岩木川に放流されました。この取り組みは、ジャパンカップという全国から選手達や応援の観光客が集まるこの機会を絶好のPRの場として、「魚と子供達のふれあいと岩木川を全国の人に知っ

## “津軽ダム”を見学しました!!

～ 弘前大学農学生命科学部 地域環境工学科の皆さん ～



【疑問点はそのまます、質問しクリアします!】



【車窓から水質保全施設について説明しました】

令和元年6月22日(土)、弘前大学農学生命科学部地域環境工学科1年生の皆さんが、大学のゼミの一環で『津軽ダムが完成した事による周辺地域への影響・効果を主体的に取りまとめる』というレポート課題のもと津軽ダムを見学に訪れました。

平成29年度に津軽ダムが管理に移行し、毎年恒例の見学会になりますが、今年も津軽ダム建設段階での環境への配慮事項を中心に貯水池周辺施設や設備を巡り、水質保全、環境保全、景観等への取り組みについて理解を深める内容で進められました。見学中、熱心にメモを取り、疑問点については積極的に質問する学生の皆さんの姿がとても印象的でした。

今回のダム見学が、「地域環境工学」を学ぶ学生の皆さんの将来にとって、少しでも役立つ事を願っています。



【津軽ダムをバックに全員で記念撮影】



# TOYOTA Social Fes!! "2019"

～自神山地を学ぼう! 守ろう! 楽しもう!～



特別ゲストの矢澤一輝選手です。東京オリンピックカヌー競技代表選考真っ只中の忙しい中、ありがとうございました。



▲雄大な津軽白神湖をバックに記念撮影▲



▲ゴミは持ち帰りましょうね!▲

令和元年7月13日(土)、株式会社東奥日報社が主催となり、『トヨタソーシャルフェス2019』が西目屋村の“津軽白神湖パーク”をメイン会場として実施されました。西目屋村での開催は、今年で3年連続となります。

『青森の貴重な自然と我々の生活との関わりを知り、未来に残す』ことを目的に、西目屋村・白神山地の大自然を満喫しながら、津軽白神湖(津軽ダム湖)周辺での清掃活動を行うとともに、“カヌー・ボート体験”や自然素材を使用した“クラフト教室”などを実施し、楽しみながら自然環境の保全についての知識を深めました。

親子連れなどの参加者140名は“世界自然遺産白神山地”の大自然で澄んだ空気を体一杯で吸い込みながら、とても充実した1日を過ごし、普段体感することのできない“非日常”を満喫していました。また、この日は特別ゲストとして東京オリンピックカヌー競技代表選考真っ只中の矢澤一輝選手がイベントを盛り上げ、参加者達は思いがけず充実したプレミアムな時間を過ごすことが出来ました。



## 現場レポート第3弾

～津軽ダム・巡視船に同行～



今回は津軽ダムによって新しくできた“津軽白神湖”の湖面巡視に必要な船の管理運転に同行し、現場からのダイレクトな臨場感をレポートします。湖面巡視では主に『ダム本体や構造物の異常・地山の崩壊・不法占用・不法投棄・水質異常』等を重点的に見っていますが、“津軽白神湖”の湛水面積は5.1km<sup>2</sup>と広大でダム湖を巡視するには“船”が必需品となります。



▲巡視船の運行前点検を終え、津軽白神湖へ向かいます。表情は真剣そのもの!!

- 日時：令和元年7月17日(水)
- 天気：晴れ



今回レポートしていただいた非常勤職員の左から、小堀さん、太田さん、対馬さんです。ダム湖の船上巡視は貴重な体験です。さあ、出発です!



▲地図を見て現在地を確認。ダム湖の広さに驚きます。



▲ゲートの説明をうけました。いつもと違うアングルから見るダム堤体は圧巻!



# お知らせ

## “ダムカード”<sup>ダブル</sup>Wでニッコリ企画 実施中！



岩木川ダム統管理事務所が管理している“浅瀬石川ダム・津軽ダム”各々から“特別なダムカード”をゲットし、**2枚セット**で黒石市、西目屋村の企画参加店舗へ提示するとお得な特典が受けられます。この機会を是非お見逃しなく！

- 実施期間：令和元年7月20日（土）～  
※カードが無くなり次第終了
- 配布場所：通常のダムカードと同様に、浅瀬石川ダム特別カードは「浅瀬石川ダム資料館」、津軽ダム特別カードは「岩木川ダム統管理事務所」で配布しています。

※浅瀬石川ダム特別カード、津軽ダム特別カードを2枚セットで提示することが条件です。サービス提供期間は、8月31日（土）迄です。

※黒石市、西目屋村の企画参加店舗及び特典内容の詳細は、岩木川ダム統管理事務所HPをご覧ください。

▶岩木川ダム統管理事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>



# 夏のライトアップ告知

## ★ 津軽ダム ★

昨年に引き続き『お盆期間』に合わせて実施します。3分毎に6パターンのカラーに変化させ、白神山地の夜空と津軽ダムを幻想的に照らし出します。天候に恵まれれば、期間中、“ペルセウス座流星群”とのコラボレーションを見れるかもしれません。



- 実施日：令和元年8月10日（土）～18日（日）
- 実施時間：19：00～21：00

※災害等が発生するおそれがある場合等、ライトアップを中止する場合があります。

●岩木川ダム統管理事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

## 編集後記

7月に入り、日差しの暑さを肌で実感する日が続いています。ダム見学の案内担当なので、毎日のように外での業務がメインとなりますが、日に日に日焼けが進み、風呂に入って鏡で自分の顔を見ると“真っ黒”なのにびっくりします。これが後々、シミ・シワを加速度的に進行させる大きな要因になるのでしょうか！自分ではまだ若いと思っている反面、半世紀の大台に乗りつつある年齢の現実を突きつけられると、体のあちこちに“ガタ”が来ているのも否定できません。今年の夏は、栄養ドリンクだけで乗り切れるかちょっと不安です。（船水）

### 編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
岩木川ダム統管理事務所

〒036-1422  
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平  
字寒沢138-2  
TEL 0172-85-3035  
FAX 0172-85-3061

岩木川ダム統管理事務所  
ホームページアドレス  
<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

